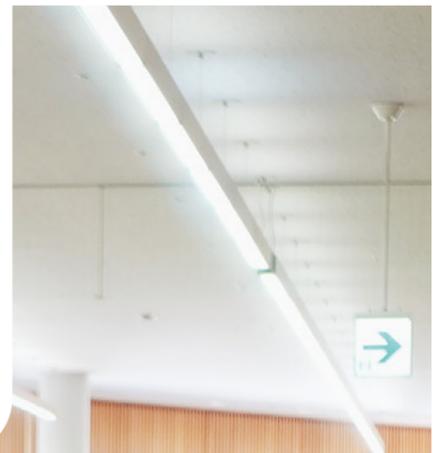


メガホン

2021 SUMMER Vol. 8

発行：富岡町図書館



今回のテーマ
自分事として考える



いま遠くの国で起こっていること、すぐ隣の人に起こっているかもしれないこと。互いに生きやすい社会を考える本を紹介します。

「利他」とは何か

伊藤亜紗、中島岳志[ほか]／著
(集英社新書、2021年)

自己よりも他者の利益を優先する考え方を利他主義といいます。新しいウイルスによって世界的危機に直面する中で、様々な分野で注目されている「利他」について考えてみませんか？それは身近な知り合いから、遠く離れた他者へ通ずる道かもしれません。



ブルースだってただの唄 黒人女性の仕事と生活

藤本 和子／著 (筑摩書房、2020年)

黒人で、女性。そうした出自が人生を狂わせる「差別」。あまりにも痛ましい一生を綴りながら、遅く生きる彼女たちの姿に心が動かされます。同時に、遅くならざるを得ない社会の在り方に思いを巡らす一冊です。



世界のひきこもり 地下茎コスモポリタニズムの出現

ぼそっと池井田／著 (寿郎社、2020年)

ひきこもり歴35年の著者による、世界13カ国のひきこもりたちとの対話集。ひとり一人の人生はもちろん違って、悩みや主張も多種多様。しかし、その営みは社会の地表を歩く人々の目には映らない。「地下茎」のネットワークを覗いてみよう。



ゴミにすむ魚たち

大塚 幸彦／文・写真 (講談社、2011年)

海に捨てられた空き缶やタイヤを住処にして生きている魚たち。まるでゴミと共存しているかのよう。しかし、これらの物質は分解されません。このまま海に溜まり続けたらどうなるのでしょうか。ゴミが海にもたらす影響について考えさせられる一冊です。



うちの父が運転をやめません

垣谷 美雨／著 (KADOKAWA、2020年)

免許返納は、老いてからの自らの生き方にとって重大な問題です。親の運転をきっかけに家族が一步踏み出す希望の物語の中に、自分にとってそう遠くない将来が重なります。あなたは何歳まで運転を続けますか？



水を縫う

寺地 はるな／著 (集英社、2020年)

「普通」。つい使ってしまうこの言葉。でも誰が、何を基準に決めたものなのでしょう。正解がない不確かなものなのに、人も自分自身も苦しめてしまっていることがありますよね。この小説は、そうした世間の「普通」から少しはみ出た家族と、その葛藤を丁寧に描いたお話です。



しごとをとりかえただんなさん

ウィリアム・ウィズナー／え、あきのしょういちろう／やく (童話館出版、2002年)

いつの時代も相手の仕事はよく見えるものですね。このお話に登場するだんなさんは、家事をするおくさんと仕事をとりかえてみたものの…さあ、たいへん！ほのぼのしたイラストからやさしさが伝わるノルウェーの昔話。



拡大読書器が使えます
小さな文字が見づらい方の読書を助ける装置です。モノクロ表示やネガ反転表示にも対応しています。観光パンフレットに掲載されていた写真を拡大してみました。



富岡町図書館

TOMIOKA TOWN LIBRARY

〒979-1151 双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622-1

電話：0240-21-3665 FAX：0240-23-5225

開館時間 火～日(祝日、休日を除く) 午前10時～午後6時

休館日 毎週月曜日、祝日、月末館内整理日

蔵書点数 図書・・・約9万5,000冊 CD・DVD・・・約5,000点

ホームページ <http://www.manamori.jp/index.html>

ハンディキャップサービスを知っていますか？

Do you know about handicap services?

「ハンディキャップサービス」と聞いてどんなことを思い浮かべるでしょうか。一般的には「障害がある方へのサービス」と捉えられるかもしれませんが、図書館でおこなうハンディキャップサービスは「図書館利用に障害がある方へのサービス」です。

身体等の障害だけではなく、話す言語や図書館まで来館手段があるかなどを「障害」という言葉で表現しており、内容は多岐にわたります。

それらをできるだけ取り除くため、移動図書館車の運行をはじめ、大活字本やさわる絵本、多言語で書かれた本などの「バリアフリー図書」を提供しています。

館内でよく目にする見出しですが、これもハンディキャップサービスの一部です。文字の大きさや字体など、ほんの小さな工夫で誰もが利用しやすい図書館環境に繋がっていくのです。

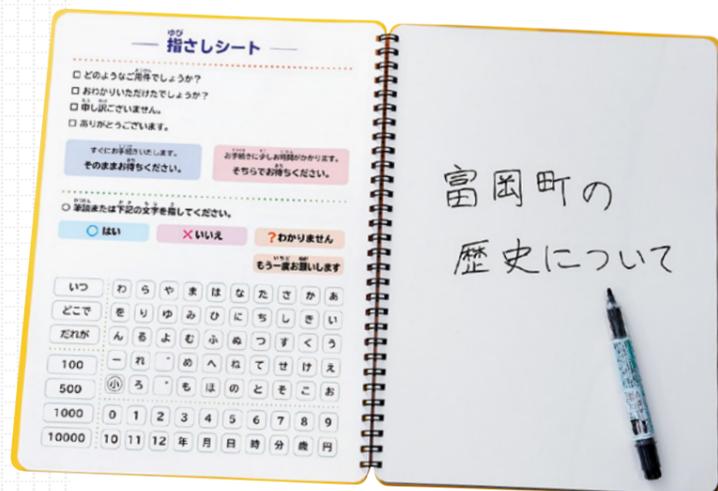


老眼鏡

読書や調べものを支援する道具たち

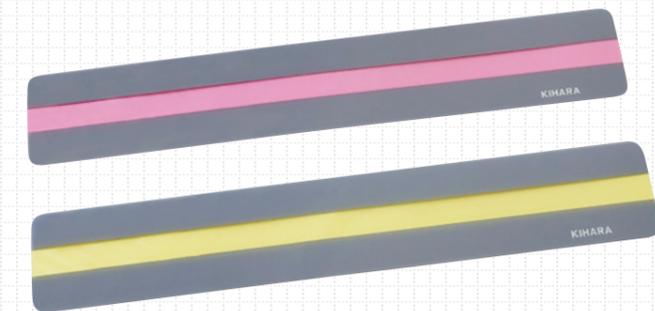
Tools to support reading and research.

筆談ボード



富岡町の歴史について

リーディングトラッカー



さまざまなバリアフリー図書

Various barrier-free books.

大活字本

大きな文字で書かれた本です。小説やエッセイもあります。小さな文字が見づらい方に。

【実物大の比較】

単行本

大活字

あ

あ

さわる絵本 (点字絵本)

文字だけでなく、絵や図にも凹凸がついています。



さわるめいろ
村山 純子/著 (小学館)

朗読CD

耳で楽しむ読書です。車での移動が多い方にもおすすめです。



雨あがる
山本周五郎/著、日下武史/朗読
(新潮社)

LLブック (やさしくよめる本)

やさしい言葉や絵記号を使って、内容が理解しやすいよう工夫されている本です。



ともだちってどんなひと?
赤木 かん子/著、濱口 瑛士/絵
(埼玉福祉会出版部)

外国語

洋書や日本語と外国語が併記された本です。語学学習にも使えます。



英語でもよめる じぶんだけのいろ
レオ=レオニ/作、谷川 俊太郎/訳
(好学社)

拡大読書器のほか、老眼鏡や1行ずつ読みやすくするリーディングトラッカーなどもご用意しています。

耳が聞こえづらい方に向けては、指さしでご要望をうかがうボードや筆談ボードを備えています。お気軽にカウンターへお越しください。

館内は、車椅子やベビーカーが自由に移動できるようになっています。ビデオ鑑賞席の一室は入り口の幅が広くしてあります。カウンターはもちろん、自動貸出機やOPAC(蔵書検索端末)の高さも車椅子の目線です。

※コロナウイルス感染拡大防止のため、2021年6月1日現在、ビデオブースの利用提供を停止しています。

目が見えない・見づらい方に向けて、大活字版と点字版の「広報ふくしま」を置いています。福島県点字図書館からのお知らせや新刊図書案内(点字図書、録音図書、テキストデジター、マルチメディアデジター)が掲載されています。どうぞご活用ください。

